

はじめに

Introduction

日本語のクラスにおいて、たくさんの日本語を聞き、話す機会を作るとはとても大切です。しかし、特に初級の最初の段階では、文法や語彙、文化背景など日本語だけでは学習者が十分に理解できないことが多くあります。また、学習者の中には、自分が日本語を正しく理解しているのかわからず、不安を感じる人もいます。もし**クラスの学習者がわかる共通言語、例えば英語があれば、その言語を使って説明することで、学習者のより深い日本語の理解を促すとともに、不安を取り除く助けともなります。**また、授業の時間は限られています。**英語と日本語の相違点を活かして簡潔な説明ができれば、時間の効率化にもつながります。**とは言っても、英語で説明したり、英語で質問に答えたりすることは容易なことではありません。実際、「学習者から英語でたくさん質問が来るがうまく答えられない」、「自分の英語が正しいか不安がある」という教師の声を聞きます。また、反対に「英語での説明が長くなり、学習者の日本語を聞く時間が減ってしまい心配だ」という声も聞きます。

そこで、この本では、日本語を教えている人やこれから日本語教師を目指す人で、**英語を使って文法や語彙を説明したり、質問に答えたりできるようになりたい人のために、できるだけやさしい英語で簡潔に説明した例や、英語で教える際のポイント**を紹介しています。

扱う項目は、**初級の学習者からよく聞かれる項目や、日本語と英語の間に違いがある項目で、英語と日本語の相違点を考えながら、英語を活かした説**

明ができるようになることを目指しています。また、ただ例文を覚えるだけでなく、**よく使う単語、文のパターンを練習していくことで、教室に必要な英語力を少しずつ身に付ける**ことも目指しています。

日本語は日本語で教えると習ってきた人も多くいると思います。筆者もその一人です。大学で担当する日本語教師養成においても、媒介語を使わずに教える方法を教えてきました。しかし、ある時、英語圏の日本語教育機関に教育実習生を派遣したところ、帰国後、派遣先では英語を多く使用していて準備していた教え方がうまくいかなかったこと、また、英語で質問されてうまく答えられなかったことを聞きました。派遣先の日本語のクラスで英語を使用していることは事前に把握していましたが、特に英語に対する準備はしていませんでした。もちろん、うまくいかなかった理由は、英語だけではありません。また、英語が流暢に話せればうまくいったわけでもありません。ですが、**日本語を教える際に、効果的に英語を使う場面やよく使う英語表現がわかれば、役に立つのではないか**と思うようになりました。また、日本語教育を学ぶ学生の中には、英語を学んでいる学生も多くいるので、学んだ英語を活かす機会にもなります。

日本語教育を取り巻く環境は多様で、さらに変化を続けています。教師は、環境に合わせて柔軟に対応することが大切です。そのためには、教師もさまざまな引き出しを持っておく必要があります。本書がみなさんの引き出しの一つとなればうれしく思います。

2024年3月

著者一同

もくじ

Contents

はじめに 2
 本書の構成と使い方 9



学習者からの質問に答える！ 文法

授業で使える英語表現

01 ~です 15
 質問をしたときは、文の最後に「か」を付けます。
 You put か at the end of a sentence when you want to make a question.
 [位置に関する表現 (例)]

02 ~は 21
 「が」は (基本的に) 主語を示します。
 が basically indicates subject.
 [indicate を使った助詞の説明 (例)]

03 あなた 27
 「あなた」は失礼に聞こえるので、言うのを避けます。
 You avoid saying あなた because it sounds impolite.

04 それ/あれ 33
 日本語では、「その」と「あの」を区別します。
 In Japanese, there is a difference between その and あの.

05 ある/いる 39
 来週、小テストがあります。
 We'll have a quiz next week.
 [have を使った表現 (例)]

授業で使える英語表現

06 NとN/~て、~ 45
 「と」は名詞だけつなげられることに注意してください。
 Note that と can connect nouns only.

07 イ形容詞/ナ形容詞 51
 どちらの表現も正しいです。
 Both expressions are correct.

08 動詞の未来の形 57
 これから、コピーを配ります。
 I am going to hand out some copies.

09 動詞のテ形 63
 「る」を取って、「て」を付けます。
 Drop る and add て.
 [活用の説明で使える表現 (例)]

10 ~ている 69
 教科書を持っていますか。
 Do you have your textbook?

11 に/で 75
 昼休みは、いつもオフィスにいます。
 I'm usually in my office during the lunch break.

12 ほしい/~たい 81
 プリントをもらっていない人はいますか。
 Is there anyone who didn't get the handout?

13 ~たいですか 87
 それは、横柄に聞こえます。
 It sounds arrogant.
 [It sounds A (形容詞) の例]

14 あげる/くれる 93
 宿題を出します。
 I'll give you my homework.

15 ~てあげる 99
 ビジネスの場面では、「持ちますか」を使う代わりに「お持ちしましょうか」を使います。
 You use お持ちしましょうか in business settings instead of using 持ちますか.
 [場面・状況を限定するときに使える表現 (例)]

授業で使える英語表現

16	自動詞/他動詞	105	スクリーンを見てください。 Look at the screen.
17	ようだ/らしい	111	(どうやら) wifiにつながらないみたいです。 It seems that we can't connect to wifi.
18	～から、～	117	今日の授業は休講です。なぜなら、台風が近づいているからです。 Today's class will be canceled because a typhoon is approaching.
19	丁寧形/普通形	123	「と思う」の前には、必ず普通形を使うようにしてください。 Make sure that you use the plain forms before と思う.
20	～とき、～	129	終わったら、パートナーと答えを確認してください。 After you are finished, check your answers with your partner.

現場あるある! Column

①	細かいことが気になります!	20	「後で勉強する」「今は考えなくてもいい」ことを伝える一言
②	自己紹介のときは、名字が先? 名前が先?	26	
③	相手のことを何と呼ぶ?	31	
④	自分のことを何と呼ぶ?	32	[日本語の自称詞]
⑤	アクティビティの指示は明確に!	37	[アクティビティにおける英語の指示(例)]
⑥	笑いの違い!	38	
⑦	カタカナ英語は簡単?	44	
⑧	学習者との距離感	50	

⑨	発表者はどう決める?	62	
⑩	うんうん/確かに	68	
⑪	くしゃみをした人に何と言う?	74	
⑫	お礼の言い方	80	
⑬	方言	86	
⑭	質問にいつも答える?	92	
⑮	ウチとソト	98	
⑯	敬語	104	[会社でよく使われる敬語表現(例)]
⑰	日本人ははっきり言わない?	116	
⑱	先輩・後輩って?	122	[人間関係を表すことば(例)]
⑲	「です・ます」はいつまで使う?	128	



学習者からの質問に答える!
ことば

01	おつかれさま(です)	136
02	どうも	138
03	すみません	140
04	よろしく(お願いします)	142
05	大丈夫(です)	144
06	お邪魔します/失礼します	146
07	病気/体調が悪い/調子が悪い	148
08	得意/上手	150
09	うるさい	152
10	残念ですね	154
11	ワクワク/ドキドキ	156
12	楽しい/うれしい/おもしろい	158



英語と日本語、どう違う？

日本語の構造について

- Q1 日本語の語順は、英語の語順と違いますか。 162
- Q2 日本語では、動詞はいつも文の最後に来ますか。 163
- Q3 日本語では、単数・複数名詞の区別をしますか。 164

日本語の語彙・文字表記について

- Q4 日本語は、どんな文字を使いますか。 165
- Q5 日本語の漢字は、中国語の漢字と同じですか。 166

日本語の発音について

- Q6 日本語の発音は、英語の発音と大きく違いますか。 167
- Q7 日本語は、中国語のような「声調」言語ですか。 168
- Q8 「チーズ」の「ー」は、どのように発音しますか。 169

日本語の待遇表現について

- Q9 日本語の敬語は、何種類ありますか。 170
- Q10 アニメやマンガの日本語を使うことができますか。 171



お役立ち用語&表現！

- オリエンテーションで使う表現 174
- 教室で使う表現 176
- 教室で使うカタカナ語 178
- オンライン授業で使う表現 180
- 文法用語 182

本書の構成と使い方

本書は主に三つのPARTに分かれています。

PART 1

学習者からの質問に答える！ 文法

How to answer questions from learners! - Grammar

初級の文法項目の中から、英語と日本語に違いがある項目、学習者からよく質問がある項目、使い方に注意が必要な項目を中心に 20 項目取り上げました。英語で説明するときのパターンや、授業で役立つ英語表現も紹介しています。

1 ページ目

PART 1 文法

01

～です

Let's think about it!
考えてみよう！

① 「～は～です」の勉強をした学習者から、次のような質問がありました。どう答えたらいいですか。

Is です the same as "is"?


「です」とは同じですか。

② 英語を日本語にしてください。英語と日本語では何が違いますか。

① I am Harry.

② My major is Japanese.

③ Are you an international student?



15

考えてみよう！①

初級の学習者からよく出てくる文法に関する質問、または、よく見られる誤りが書かれています。まずは、どのように説明したらいいか、考えてみましょう。

考えてみよう！②

英語を日本語に、または、日本語を英語にして、どのような相違点があるか、考えてみましょう。説明を考えるためのヒントにもなります。

2 ページ目

Hints on how to answer
答え方のヒント

1. 「AはBです (A=B)」と「AはBと同じ意味です」。

A=B

① 私は **ハリー** です。 I am Harry.
② 専攻は **日本語** です。 My major is Japanese.
③ (あなたは) 留学生ですか。 Are you an international student?

2. ですが、「です」と am, is, are などの be 動詞² は、全く同じというわけではありません。「です」は、**文法的な機能**です。

答え方のヒント

「考えてみよう! ①」の質問にどう答えるか、答え方のヒントをまとめています。**日本語の説明は、できるだけ英語にしやすいような文や表現にしています。**例文は、説明の際にも使うことができます。

3 ページ目

Let's say it in English!
英語で言ってみよう!

1. 「AはBです and "A is B" have the same meaning.

2. But, 「です and be verbs, am/is/are are not exactly the same. です has not only a grammatical function, but also indicates politeness. You put です just after nouns or adjectives at the end of a sentence. Sentences without です sound casual.

① A and B have the same meaning (AとBは同じ意味だ)
② A and B are not exactly the same (AとBは全く同じというわけではない)
③ grammatical function (文法的な機能) ④ indicate A (Aを示す)
⑤ politeness (丁寧さ) ⑥ put A just after B (AをBのすぐ後に置く)

Teaching Tips
教えるときのポイント

初級の最初で登場することが多い「AはBです」の文は、一見、シンプルに見えますが、語彙、動詞、人物代名詞の使用の有無など英語との違いも多く、全てがわからないと不安になる学習者もいます。Please memorize this sentence pattern now. (今はこの文のパターンを覚えてください) のように、今覚えるべきこと、今は考えなくてもいいことを英語で一言、うまく伝えられると、学習者も少し安心します (詳しくは p. 20へ)。

英語で言ってみよう!

「答え方のヒント」を英語で説明しています。英語は、同じパターンの構文で説明できるように意識しています。よく出てくる語彙や表現は、キーワードとして抜き出しています。音声も付いているので、音声も聞きながら練習しましょう。「音声」と「キーワードリスト」はウェブサイトにあります。

教えるときのポイント

教師が知っておいたほうが良い日本語と英語の違いや、日本語の知識、教える際のポイントをまとめています。

4 ~ 5 ページ目

Useful Classroom Expressions
授業で使える英語表現

質問をしたいときは、文の最後に「か」を付けます。

(You put A + [場所] + when you want to do) は、「～したいときは、[場所]にAを付ける」という意味で、動詞の説明など、文法を説明するときに、よく使われます。

① You put か at the end of a sentence when you want to make a question. 質問をしたいときは、文の最後に「か」を付けます。
▶ 質問を作る make a question

② You put じゃないです at the end of a word when you want to make a negative sentence. 否定文を作りたいときは、単語の後ろに「じゃないです」を付けます。
▶ 否定文を作る make a negative sentence

まとめ

You put A + [場所] + when you want to do

授業で使える英語表現

教えるときに使える英語表現について、教室場面で使う例を挙げながら、説明しています。例を覚えるだけでなく、文のパターンを覚えていくと、応用できるようになります。「音声」と「キーワードリスト」はウェブサイトにあります。

※記号について
to do : (to不定詞) を表す
doing : (動詞のing形) を表す

6 ページ目

現場あるある! Column ①
細かいことが気になります!

日本語学習者には、さまざまなタイプの人がいます。細かい部分はあまり気にしない学習者もいれば、勉強した文の一字一句、理解しないと不安になるタイプの学習者もいます。そのような学習者にとって、初級の最初に出てくる「は」と「が」、「です」などは、わからないことが多く不安になるかもしれません。また、分析的なタイプの学習者は、「が」と「は」、何が違いますか? 「です」は何ですか? など、積極的に質問をします。しかし、最初の段階では全てを教えるのは難しいです。授業の時間にも限りがあります。そのようなときは、学習者が不安にならないように、英語で一言、後で勉強することを伝えたり、今は考えなくてもいいことを伝えたりすると、安心して進めることができます。

「後で勉強する」「今は考えなくてもいい」ことを伝える一言

現場あるある! Column

文法や語彙以外のさまざまな学習者の疑問、文化の違いなどをコラムにまとめました。学習者との英語でのQAや、役立つ英語フレーズもまとめています。「音声」はウェブサイトにあります。

PART 2 学習者からの質問に答える! ことば

How to answer questions from learners! - Phrases

初級の最初のころに学ぶ挨拶や表現の中から、学習者からよく質問がある表現、英語にはない表現、英語では一言で表せない表現、英語と違いがある表現を中心に12項目取り上げました。

1 ページ目

Phrase 01 おつかれさま (です)

When do you use おつかれさま (です)?
「おつかれさま (です)」は、いつ使いますか。

Hints on how to answer
答え方のヒント

「おつかれさま (です)」は、仕事など、努力に対するねぎらいの表現として使うことができます。

1. 「おつかれさま (です)」には、主に三つの使い方がります。

▶ **何かを始めるときの挨拶**
「おつかれさま (です)」は、職場に入って、働いている同僚に偶然会ったときに、挨拶として使うことができます。

▶ **途中の挨拶**
「おつかれさま (です)」は、大変な仕事に対するねぎらいを表すために、まだ相手が働いていても、使することができます。

▶ **終わりの挨拶**
「おつかれさま (です)」は、あなたが先に職場を出るときにも、誰かがあなたより先に、職場を出るときにも使えます。

初級の学習者からよく出てくる、ことばに関する質問が書かれています。どのように説明したらいいか、考えてみましょう。

答え方のヒント

上の質問にどう答えるか、答え方のヒントをまとめています。**日本語の説明は、できるだけ英語にしやすいような文や表現にしています。**まずは、日本語と英語の違いや、ことばの使われ方を理解しましょう。

2 ページ目

Let's say it in English
英語で言ってみよう!

① appreciation (お礼) ② effort (努力) ③ such as A (A など)
④ greeting (挨拶) ⑤ workplace (職場) ⑥ bump into A (A に偶然会う)
⑦ colleague (同僚) ⑧ You should not ~ (～しないほうがいい)
⑨ That would sound A (A に関係がある)

You can use おつかれさま(です) as an expression of appreciation for someone's efforts, such as work.

1 おつかれさま(です) has three main uses.

- You can use おつかれさま(です) as a greeting when you enter the workplace and bump into a colleague who has been working.
- You can use おつかれさま(です) to express appreciation for someone's hard work even though they are still working.
- You can use おつかれさま(です) both when you leave the workplace first, and when someone leaves the workplace before you do.

英語で言ってみよう!

「答え方のヒント」を英語で説明しています。そのことばを説明するときによく出てくる語彙や表現は、キーワードとして抜き出しています。音声も付いているので、音声も聞きながら練習しましょう。(「音声」と「キーワードリスト」はウェブサイトにあります。)

Teaching TIP
教えるときのポイント

「おつかれさま(です)」には、さまざまな使い方があり、英語で一語で表すことはできない表現です。ビジネス以外の場面でも、グループワークで作業中の友だちに「おつかれ」と言ったり、忙しい知人に「おつかれさま」とメッセージを送ったりするなど、幅広い場面で使われます。「おつかれさま(です)」はアルバイトでもよく使われるので、挨拶として覚えた学習者が先生に「おつかれさま(です)」と言うことがありますが、先生に対しては言わないので注意が必要です。

教えるときのポイント

教師が知っておいたほうが良い日本語と英語の違いや、日本語の知識、教える際のポイントをまとめています。

3_01

はい。英語では基本的な語順は、「主語 S + 動詞 V + 目的語 O」です。日本語では基本的な語順は、「主語 S + 目的語 O + 動詞 V」です。日本語の語順は、英語の語順より柔軟です。

Yes. In English, the basic word order is SUBJECT – VERB – OBJECT (SVO). In Japanese, the basic word order is SUBJECT – OBJECT – VERB (SOV). The word order in Japanese is more flexible than it is in English.

The cat eats fish.

PART 1、PART 2 に比べて、言語学的な説明が含まれるため、専門用語も多く、英語も少し難しい表現が使われています。まずは、日本語を読んで内容をよく理解してから、英語を確認しましょう。(「音声」はウェブサイトにあります。)

PART 3

英語と日本語、どう違う？

What's the difference between English and Japanese?

日本語の構造、文字・表記、発音、待遇表現について、学習者からよく質問がある項目、日本語を学ぶ際に知っておくと役立つ項目を中心に取り上げました。そもそも、日本語とはどのような言語なのか、英語と比較しながら整理できるようにになっています。

■ おまけ「お役立ち用語&表現！」

必要に応じて活用してください。(「音声」はウェブサイトにあります。)

- ・オリエンテーションで使う表現
- ・教室で使う表現
- ・教室で使うカタカナ語
- ・オンライン授業で使う表現
- ・文法用語

■ 「音声」と「キーワードリスト」について

本書の「音声」と「キーワードリスト」は、下記ウェブサイトにあります。



https://www.9640.jp/books_971

音声は、本文にある音声マークの数字に従って再生してください。

About the structure of Japanese 日本語の構造について

Q1 日本語の語順は、英語の語順と違いますか。

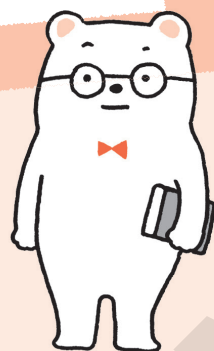
Is the word order in Japanese different from the word order in English?



PART 1

学習者からの質問に答える！

文法

How to answer questions from learners!
Grammar

About this part

学習者から出てくる質問で最も多いのは、文法に関することです。日本語と英語では、語順や助詞など、異なる点が多くあります。

また、文法の中に文化的な違いが隠れていることがあります。日本語では、相手や場面によって表現を変えることが多く、文法的には正しくても失礼に聞こえることもあります。

PART 1では、このような学習者からの質問や学習者の誤りについて、日本語と英語の違いをふまえて、簡潔に説明できるように学んでいきましょう。また、説明するときに使う英語のポイントや、英語と日本語の違いについても学んでいきましょう。

Grammar

01

～です

Let's think about it!

考えてみよう！

- ① 「～は～です」の勉強をした学習者から、次のような質問がありました。どう答えたらいいですか。

Is です the same as "is"?

「です」とisは同じですか。

- ② 英語を日本語にしてください。英語と日本語では何が違いますか。

- ① I am Harry.
- ② My major is Japanese.
- ③ Are you an international student?



Hints on how to answer

答え方のヒント

- 1 ▶ 「A は B です (A = B)」 と A is B は同じ意味です¹。

A = B

- ① 私は ハリー です。 I am Harry.
 ② 専攻は 日本語 です。 My major is Japanese.
 ③ (あなたは) 留学生 ですか。 Are you an international student?

- 2 ▶ ですが、「です」と am, is, are などの be 動詞² は、全く同じというわけではありません。「です」は、文法的な機能だけでなく、丁寧さも示します。「です」は、文の終わりの名詞や形容詞のすぐ後ろに付けます。「です」のない文はカジュアルに聞こえます。

A = B

- ① 私は ハリー。 I am Harry.
 ② 専攻は 日本語。 My major is Japanese.
 ③ (あなたは) 留学生? Are you an international student?

- ① : B が名詞の文を **名詞文**、形容詞の文を **形容詞文** と呼びます。
 ② : 英語の am, is, are など を **be 動詞** と呼び、それ以外の動詞を **一般動詞** と呼びます。

Let's say it in English!

1_01_1

英語で言ってみよう!

- 1 ▶ A は B です and “A is B” have the same meaning.
 2 ▶ But, ^②です and be verbs, am/is/are are not exactly the same. です has not only a ^③grammatical function, but also ^④indicates ^⑤politeness. You ^⑥put です just after nouns or adjectives at the end of a sentence. ^⑦Sentences without です sound casual.

- 🔑 ① A and B have the same meaning (A と B は同じ意味だ)
 ② A and B are not exactly the same (A と B は全く同じというわけではない)
 ③ grammatical function (文法的な機能) ④ indicate A (A を示す)
 ⑤ politeness (丁寧さ) ⑥ put A just after B (A を B のすぐ後ろに付ける)
 ⑦ A sound B (A は B に聞こえる)

Teaching Tips

👉 教えるときのポイント

初級の最初に登場することが多い「A は B です」の文は、一見、シンプルに見えますが、語順、助詞、人称代名詞の使用の有無など英語との違いも多く、全てがわからないと不安になる学習者もいると思います。Please memorize this sentence pattern now. (今はこの文のパターンを覚えてください) のように、今覚えるべきこと、今は考えなくてもいいことを英語で一言、うまく伝えられると、学習者も少し安心します (詳しくは p. 20 へ)。

Useful Classroom Expressions

授業で使える英語表現

質問をしたときは、文の最後に「か」を付けます。

〈You put A + [場所] + when you want to do〉は、「～したいときは、[場所]にAを付ける」という意味で、助詞の説明など、文法を説明するときに、よく使います。

🔊 1_01_2

- ① You put か at the end of a sentence when you want to make a question.

質問をしたときは、文の最後に「か」を付けます。

▶ 質問をする make a question

- ② You put じゃないです at the end of a word when you want to make a negative sentence.

否定文を作りたいときは、単語の後ろに「じゃないです」を付けます。

▶ 否定文を作る make a negative sentence

まとめ

You put A + [場所] + when you want to do
～したいときは、[場所]にAを付けます

STEP UP!

put の代わりに add を、when の代わりに if を使うこともできます。

- ③ You can add めっちゃ before adjectives if you want to say things like “very delicious” to your friends.

友だちに very delicious のようなことを言いたいなら、形容詞の前に「めっちゃ」を付けることができます。

▶ A のようなこと things like A

〈put/add A〉(A を付ける)の他に、〈replace A with B〉(A を B に置き換える)のような表現もあります。また、〈when/if you want to do〉の部分は〈to do〉とすることができます。

- ④ You just replace です with じゃないです to make a negative sentence.

否定文を作るには、ただ「です」を「じゃないです」に置き換えます。

▶ ただ～ just～

まとめ

You add A + [場所] + if you want to do
～したいなら、[場所]にAを付けます
You replace A with B to do
～するには、AをBに置き換えます

☑️ 位置に関する表現 (例)

🔊 1_01_3

表現	例文
at the beginning of A A の最初に	The subject comes <u>at the beginning of</u> the sentence. 主語は文の最初にきます。
at the end of A A の最後に	The verb comes <u>at the end of</u> the sentence. 動詞は文の最後にきます。
between A and B A と B の間に	Information such as objects, time, and place come in <u>between the subject and the verb</u> . 目的語、時間、場所などの情報は、主語と動詞の間に入ります。
(just) before A A の (すぐ) 前に	The object comes <u>before</u> the verb in SOV language. SOV 言語では、目的語は動詞の前にきます。
(just) after A A の (すぐ) 後ろに	You put particles <u>just after</u> the related word. 関連する言葉のすぐ後ろに助詞を付けます。
followed by A その後に A がくる	The subject comes <u>first, followed by</u> the object. 主語が先にきて、その後に目的語がきます。
together with A A と一緒に	You use Japanese numerals <u>together with</u> counters such as 個, 本. 日本語の数は、「個」や「本」などの助数詞と一緒に使います。
accompanied by A A と一緒に	You use あります <u>accompanied by</u> が. 「あります」は「が」と一緒に使います。
end with A A で終わる	The sentence ends with the verb or with an adjective or noun plus the copula (ダ/デス). 文は、動詞もしくは、形容詞または名詞に (ダ/デスといった) コピュラを付けたもので終わります。

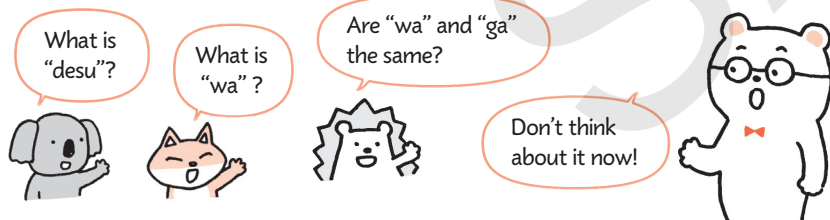
現場あるある!
Column ①

細かいことが気になります!

日本語学習者には、さまざまなタイプの人があります。細かい部分はあまり気にしない学習者もいれば、勉強した文の一字一句、理解しないと不安になるタイプの学習者もいます。そのような学習者にとって、初級の最初に出てくる「は」と「が」、「です」などは、わからないことが多く不安になるかもしれません。また、分析的なタイプの学習者は、「『が』と『は』は、何が違いますか」「『です』は何ですか」など、積極的に質問をします。しかし、最初の段階では全てを教えるのは難しいですし、授業の時間にも限りがあります。そのようなときは、学習者が不安にならないように、英語で一言、後で勉強することを伝えたり、今は考えなくてもいいことを伝えたりすると、安心して進めることができます。

「後で勉強する」「今は考えなくてもいい」ことを伝える一言  C01

日本語	英語
後で勉強します。	You will learn it later.
次の章で勉強します。	You will learn it in the next chapter.
今は考えないでください。	Don't think about it now.
今は重要ではありません。	It's not important now.
今はこの文のパターンを覚えてください。	Please memorize this sentence pattern now.
少しずつ勉強します。	You will learn it little by little.



Grammar

02

～は

Let's think about it!

考えてみよう!

- ① 動詞の文を勉強した学習者から、次のような質問がありました。どう答えたらいいですか。

What is は?
Does は indicate subject?

「は」は何ですか。「は」は主語を示しますか。

- ② 日本語を英語にしてください。日本語と英語では何が違いますか。

- ① 週末はいつも映画を見ます。
- ② A: すてきなかばんですね。
B: ありがとうございます。
このかばんは母が作りました。
- ③ 私は毎朝7時に起きます。

